

福岡市の夜間収集

福岡教育大学附属福岡中学校3年 田中 はる

「ねえ、大変なことになってるよ。」

ある夏の夕方、母にそう言われて表に出た。たくさんのカラスの鳴き声が聞こえた。近くの道路に、荒らされたゴミ袋があり、中身があふれ出ているのが見えた。その近くにはゴミを漁っているカラス、電線にも普段見ないほど多くのカラスがいた。

福岡市は政令指定都市で唯一、ゴミの夜間収集を実施している都市だ。ゴミは夜に出すきまりなのに、誰かが明るいうちに出したようだ。どうしたらよいかと唾然とした。そのあと、母と一緒にしぶしぶ片付けて夜の収集を待った。これをきっかけにこれまでの収集のありがたみを知った。そして夜間、どういう仕組みで収集されているのだろうと興味がわいた。

インターネットで調べると夜間に収集するとコスト面での負担が大きいらしい。深夜に働く人には深夜料金という給与がプラスされ、その分人件費が膨らむ。それが多くの市で夜間収集が実施されない原因の一つのようだ。また、作業で発生する騒音問題も懸念される。しかし、私は夜、収集車の音で目を覚ますなんてことは一度もなく、迷惑だと思ったこともない。この作業音は、車の誘導の音が小さくても運転手に聞こえるようにしたり、運転時の音を小さくしたりするなどの対策のおかげだと知った。福岡の収集法には工夫がたくさんあると分かった。

ではゴミ収集にかかるお金はどこから来るのか。調べてみると、地方交付税交付金が使われていると知った。これは国に集まった税の一部が各自治体に支給されるもので用途は自治体に任される。ゴミ収集は私たちの生活に欠くことのできない公的サービスの一つである。福岡市は夜間収集を市の都市開発の一つとして、都市美観に貢献すること、交通渋滞を回避すること、鳥獣被害を減らすこと、防犯・防災につなげることを目的として始まったと知った。

夜間収集は、ゴミを収集するだけでなく、福岡の街並みを守るために色々な面において役立っていると知った。そんな活動の裏には税金がある。税金は思っていたより生活に密着しており、私たちが生活するのに欠かせない存在だと気付かされた。また、日本全国から集められた税が、福岡の独特な取り組みを支えてくれていると分かった。夜間収集はお金がかかるとしても、それを上回るほどのメリットがあると感じているし、すごく市民のことを考えてくれている取り組みだと思う。こうやって税金が使い道を試行錯誤して、大切に使われていると知ると、これまでよりもっと気持ち良く納税できるはずだ。

自分の街を住みやすくしてくれる税金。他の街の活動にも間接的に協力できる税金。税金は莫大なお金だからこそ、どう使われるかが大切だと思う。これからは日本が豊かになるように、税金が活用され続けてほしい。